

25. An experiments on fog dessipation by the use of downward air current caused by the fall of water drops, (with Kikuchi, Nakamura and Kimura), 1963, J. App. Met. **2**, 484-493.
26. Measurement of the downdraft accompanying falling water drops, (with Endo), 1965, J. Met. Soc. Japan, Ser. II, **43**, 90-99.
- D) 気象電気**
27. -44. 18篇 (1956-1966.)
詳細は、気象研究ノート、第16巻、第3号、(1966年11月)の気象電気に関する総合報告を参照のこと。
- E) 物理気象**
45. 積算温度計の試作, 1949, 農業物理研究, 第1輯 1-10.
46. Design of an integrating thermometer, 1951, J. Fac. Sci., Hokkaido Univ., Ser. II, **4**, 1-20,
47. 積算温度計の試作 (其の二), 1952, 農業物理研究, 第2輯, 25-31.
48. 積算日射計の試作 (其の一), 1952, 農業物理研究, 第2輯, 33-39.
49. 河川の水温について, (熊井, 東と共著), 1952, 農業物理研究, 第2輯, 41-45.
50. 貯水池式水温上昇池について, 1952, 農業物理研究, 第2輯, 71-80.
51. 撒土融雪の基礎的研究 I, (熊井と共著), 1954, 農業物理研究, 第3輯, 9-20.
52. 同上 II, (熊井と共著), 1954, 農業物理研究, 第3輯, 21-32.
53. 火薬による撒土試験, (遠藤, 花島, 荒川, 熊井と共著), 1954, 農業物理研究, 第3輯, 55-62.
54. 然別湖流域の水文学的研究, (織笠と共著), 1957, 北海道大学地球物理学研究報告, **5**, 45-66.
55. 然別湖流域の降水の特性, (織笠と共著), 1957, 北海道大学地球物理学研究報告, **5**, 67-78.
56. 然別湖流域の水文学的研究, (織笠, 菊地, 高橋, 中村と共著), 1960, 北海道大学地球物理学研究報告, **7**, 1-16.
57. 然別湖流域の水文学的調査, (最終報告), (織笠と共著), 1960, 北海道大学地球物理学研究報告, **7**, 17-30.
58. 加熱式人工消霧の予備試験, (織笠, 菊地, 木村と共著), 1963, 北海道大学地球物理学研究報告, **11**, 19-24.
59. * (24と同じ) An, experiments on fog dessipation by the use of downward air current caused by the fall of waterdrops, 1963.
59. 凍上の機構について (中谷と共著), 1944, 低温科学, 第1輯, 1-9.
60. 凍上の実験的研究, 1942, J. Met. Soc. Japan, Ser. II, **20**, 146-162.
61. 霧中の温度測定について, (井上と共著), 1945, 千島北海道の霧の研究, 36-40.

理事会だより

第14期 第3回 全国理事会議事録

日時 昭和42年5月16日 19時~21時30分

場所 仙台市セントラルホテル

出席者 山本(義), 山元(竜), 磯野, 孫野, 畠山, 岸保, 小平, 神山, 大田, 吉野, 桜庭, 須田, 高橋, 荒川, 中野, 沢田(九州), 吉武, 吉田(東北), 朝倉 (順不同)

議題

1. 昭和41年度, 決算報告, 昭和42年事業計画案, 予算案は原案通り可決された。
2. 学会運営改善案については, 常任理事会の原案が認められた。

さらに整理し, 8月の全国理事会で検討する。

3. 全国理事会の期日を事前にきめ, 春期, 夏期講演会の前後および, 総会, 大会の前後に開くことを原則とする。
4. 昭和42年度秋期大会は気研または気象大の何れかに世話していただく。来年度当番支部については, 名古屋で開く予定だが地元の意見がわからないので秋の大会のときにきめる。
5. 山本理事より, 特に発言があり, 気象学の長期計画の推進について, 大学における講座の拡充など諸問題が提起された。